

公表:令和 1年 11月 19日

事業所名 ぴーすまいる

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		●		運動を行う上ではもう少し広い方がよいですが、十分な運動量、運動効果を得られるようカリキュラムを構成している。
	②	職員の配置数は適切であるか	●			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	●			フラットスペースのため特にバリアフリー化は必要なし
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	●			・殺菌効果のある加湿器設置、飲料の水・お茶は煮沸消毒後提供している
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	●			毎日の療育後MT、及び月例MTにて共有
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	●			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	●			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			●	・外部の評価実績はありません
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	●			・月例MT、日々療育後の確認、研修を都度実施
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか		●		・個別のニーズなどを十分聞き取りができていないが、中間評価などで要望、疑問等を聞き取りをしている
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		●		標準化されたツールはないが、勝因間での認識徹底を行っている
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	●			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	●			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	●			
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	●			週毎に種目設定、子供の特性のあわせ目標練習の変更を行っている
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	●			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	●			・実施前の体操内容の確認、個別の課題の確認と対応の統一化すり合わせを実施
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有して日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	●			・月例MT、日々療育後の確認、研修を都度実施 ・日々日報を作成しています
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか		●		・個別のニーズなどを十分聞き取りができていないが、中間評価などで要望、疑問等を聞き取りをしている
関係機関 や保護者 との連携 関係機関	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画して母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	●			基本全員参加
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行うか	●			今季、保護者会、ペアレントメンター相談会、保護者向けセミナーを実施
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	●			
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか			●	重心の受け入れは現状なし
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		●		情報提供を行っているが連携できているとは言い切れない
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		●		情報提供を行っているが連携できているとは言い切れない

保護者との連携	⑲	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	●			定期的なモニタリングと研修会への参加を行っている
	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			●	現状必要性はないと判断していますが。今後の検討材料

	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	●		
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	●		送迎時などに伝達を行っているが十分ではない
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	●		今季、保護者会、ペアレントメンター相談会、保護者向セミナーを実施
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	●		契約時に説明
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得て定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	●		
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	●		必要に応じ適宜相談、助言を行っているが十分ではない
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	●		今季、保護者会、ペアレントメンター相談会、保護者向セミナーを実施
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	●		随時聞き取りや相談を行っているが、十分に行き届いているとはいえない
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	●		お便りを毎月発行、不定期でのメルマガの発信
	③8	個人情報の取扱いに十分注意しているか	●		個人情報保護法に基づき管理
	③9	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	●		
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		●	閉鎖的ではないが、地域住民の招待などは行っていない
	非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	●	
④2		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	●		
④3		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	●		契約時に確認。変更時は随時確認

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされている	●		契約時に確認。変更時は随時確認
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	●		
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	●		定期的にMT。今年度は社会福祉協議会の出張研修を職員全員が受講
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載して		●	現状、該当する事例がないと想定されるため特に説明、起債は行っていないが、必要に応じ実施。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表:令和 1年 11月 19日

事業所名 ぴーすまいる

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で 適切であるか		●		運動を行う上ではもう少し広い方がよいですが、十分な 運動量、運動効果を得られるようカリキュラムを構成して
	②	職員の配置数は適切であるか	●			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配 慮が適切になされているか	●			基本フラットスペース
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標 設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	●			毎日の療育後MT、及び月例MTにて共有
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケ ート調査を実施して保護者等の意向等を把握し 、業務改善につなげているか	●			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホー ムページ等で公開しているか	●			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務 改善につなげているか			●	・外部の評価実績はありません
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保しているか	●			・月例MT、日々療育後の確認、研修を都度実施
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニ ーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等 デイサービス計画を作成しているか		●		・個別のニーズなどを十分聞き取りができていたとは言え ないが、中間評価などで要望、疑問等を聞き取りをして いる
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化 されたアセスメントツールを使用しているか		●		標準化されたツールはないが、勝因間での認識徹底を 行っている
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	●			・月例MT、日々療育後の確認、研修を都度実施
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫してい るか	●			週毎に種目設定、子供の特性のあわせ目標練習の変更 を行っている
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細 やかに設定して支援しているか		●		
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を 作成しているか	●			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その 日行われる支援の内容や役割分担について確 認しているか	●			・実施前の体操内容の確認、個別の課題の確認と対応 の統一化すり合わせを実施

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	●			・月例MT、日々療育後の確認、研修を都度実施
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	●			・日々日報を作成しています
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		●		・個別のニーズなどを十分聞き取りができていないと言えないが、中間評価などで要望、疑問等を聞き取りをして
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	●			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	●			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切		●		可能な範囲で聞き取りをしています
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	●			
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		●		情報提供を行っているが連携できているとは言い切れない
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等して		●		情報提供を行っているが連携できているとは言い切れない
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けて	●			定期的なモニタリングと研修会への参加を行っている
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			●	現状必要性はないと判断していますが。今後の検討材料
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		●		
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		●		送迎時などに伝達を行っているが十分ではない
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	●			今季、保護者会、ペアレントメンター相談会、保護者向セミナーを実施

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	●			契約時に説明
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		●		必要に応じ適宜相談、助言を行っているが十分ではない
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援して	●			今季、保護者会、ペアレントメンター相談会、保護者向けセミナーを実施
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応して		●		随時聞き取りや相談を行っているが、十分に行き届いているとはいえない
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	●			お便りを毎月発行、不定期でのメルマガの発信
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	●			個人情報保護法に基づき管理
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	●			
非常時等の対応	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			●	閉鎖的ではないが、地域住民の招待などは行っていない
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	●			マニュアルの整備、及び定期的な訓練を実施。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	●			
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	●			定期的にMT。今年度は社会福祉協議会の出張研修を職員全員が受講
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			●	現状、該当する事例がないと想定されるため特に説明、起債は行っていないが、必要に応じ実施。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	●			契約時に確認。変更時は随時確認
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	●			

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。